



梅雨の晴れ間に

青空と白い雲が映る大きな水たまり。田舎道をなつかしがる？(中郷町上桜井)

改築・改修の発注は市内の業者さんに 「住宅リフォーム助成制度」

日本共産党の長年の提案が実現

6月市議会において、長年、日本共産党市議団が提案し、先の市議選でも公約の一つとして掲げた「住宅リフォーム」助成制度が実現しました。市内業者に住宅リフォーム等を依頼したばあいに、工事費の一定割合を助成する制度です。

昨年12月の議会でも福田明市議が「全国各地で景気対策の一環として実施されており、いわき市では平成14年から20年まで実施しているが、工事額は助成額に対して約15倍になり、景気の刺激策につながっていない。今日の景気悪化をみるなら、タイムリーな景気対策だと

致で可決され同制度が実現しました。この運用にあたって「北茨城市住宅リフォーム資金補助金交付要綱」が作成されています。助成対象者は、①市民であり、個人住宅の所有者であること。②市内施工業者により個人住宅の改修を行う

確信する。共産党市議団として過去7回、同制度の実施を求める質問をした。豊田市長には初めてだが、この質問が最後になるような前向きな答弁を期待したい」と質問。
これに対して豊田市長は「過去7回も質問したというのは、同制度にたいする相当の思い入れがあるということ。時期は特定できないが、かならず実施することだけは約束する」と明言していました。
そして答弁どおり、6月議会に、同制度にともなう助成額100万円を含む補正予算が上程され、全員一致で可決され同制度が実現しました。



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団
ニュース

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

者であること。③市税等の滞納がないこと。等々とされ、助成額は、①工事金額が10万円以上のとき工事金額の5%、②工事金額が100万円以上のときは5万円、となっております。

市によると、「7月号の広報に同制度の内容を掲載し、8月いっぱい募集のうえ、予算額分に見合う人数を抽選。9月中旬までには補助金が受けられるかどうかを決定したい」としています。

ある市民は「築30年近くなり、床の改修を考えていた。同制度が活用できればありがたい」と話しています。また、共産党市議団は

妊婦検診14回に

妊婦健診の自己負担の軽減について、今年度、国が公費負担回数の拡充を決めたことにより、市も公費負担を14回に増やしています。党市議団でも、毎年の市長への予算要求などで、実現を強く求めてきました。

この4月から、母子健康手帳の交付と同時に妊婦検診14回分の受診券が交付されています。すでに手帳が交付済みの方にも、拡充さ



市内の戦跡めぐり

6月20日、北茨城・九条の会が地元戦跡めぐりに取り組み、市内外から40名ちかくが参加しました。写真は、風船爆弾の放球台と言われてきたところですが、今回、水素ガスのタンクだとする有力な説も。当時の関係者の貴重な証言に、参加者は熱心に耳を傾けました。

「住民にも業者にも双方から喜ばれる制度であり、大いに活用してほしい」と語っています。

市女性連盟が総会

6月25日、北茨城女性連盟の第13回総会が市民ふれあいセンターで開催されま



した。石田奈緒子副市長が来賓として「横の連携をとりながら、13年も活動がつづいていることはすごいこと。この女性陣のがんばりが、県内初の女性副市長として呼んでいただいた力かと思う」とあいさつ。さらに「仕事と私」と題し、講演をおこないました。